

敬老の日の式典が、白水小学校の体育館で開催され、18町内会から136名の方々が参加されました。当日は朝から気温が上昇したため、会場には脱水症を防ぐための冷茶や塩タブレットなどが準備され、心使いが感じられました。

来賓の方々が次々と祝辞を述べられ、参加者の代表の方が感謝とお礼を述べて式典が滞りなく終了しました。休憩をはさみ、南消防署大同出張所課長補佐による防災講話がありました。



▲開式の言葉 区政協力委員会委員長

## 18町内会ごとに受付



▲18町内会を6エリアに分けて、町内会ごとに受付をしていました。戸惑われている高齢者に声を掛けて案内したりなど、受付業務が適切に進むように体制がとられていました。

## 感謝とお礼



▲参加者を代表して、お礼と感謝を述べられました。健康でいるためには運動・栄養・睡眠の他に、おしゃべりもいいこと、来年も元気で参加しましょう、と話されました。

## 防災講話



▲気象庁から南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が初めて発表されたことに鑑み、みなさん一人ひとりに災害への備えスイッチを入れてほしいと話されました。

## 参加者の声

- ・初めて参加したら、昔勤めていたところの同僚と会うことができた。お話もよかったし、友人と出会えて久しぶりに楽しかったし、元気であることの大事さを痛感しました。
- ・防災講話は老人に話すのもいいけど、伝わりにくいから、学区の若い人たちに伝えて、やってもらえるようにしてほしい。

## 主催者の声

- ・暑いので、集まってもらうのも大変。時間を早めたが、熱中症になる人がでないようにしないと、折角のお祝いが台無しになるから。
- ・主催するほうも、高齢者だわね。